

市の財政事情を公表

市は年2回、財政事情を公表しています。今回は、平成14年度決算と平成15年度上半期(15年4月1日～9月30日)の状況について、概要をお知らせします。市立中央病院など公営企業の業務状況は表1のとおりです。問合せは財政課(0798・35544)へ。

平成14年度決算概要

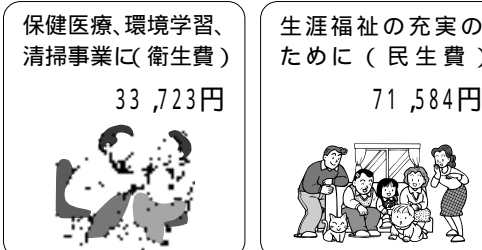
〔一般会計〕決算額の内容は、図1のとおりです。歳入1503億2780万円に対し、歳出1491億700万円で、繰越金11億5780万円となりました。ただし、繰越金11億5780万円は、繰越金として、4億1447万円を翌年度に繰越しているため、7億2492万円の黒字となりました。

財政状況は 今後も厳しく

平成14年度は、急増した年少人口に対応して、民間保育所開設などの保育所増設による教室不足の解消を図り、より柔軟に住民のニーズに役立つソフト事業の環境を整備するなど、人口の高齢化に対応した施策や事業を行いました。しかし、震災復興事業がピークを過ぎ、国民年金収納

図2

市民1人あたりに使った額 一般会計の支出済額を市民1人あたりでみると32万9991円で、内訳は下図のとおりです。総経費に対する市税負担額は17万7691円です。



平成14年度 バランスシートを作成 (貸借対照表)

市は、企業会計方式による財政分析に取組んでいます。このほど、平成14年度決算に基づく「バランスシート(貸借対照表)」と、平成14年度中に提供した行政サービスの状況を表す「行政コスト計算書」を作成しました。その内容をお知らせします。問合せは財政課(0798・35544)へ。

バランスシートは、資産や負債などのストックの状況を明らかにした財政分析の資料です。発生主義に基づく企業会計方式を取り入れ、現金主義による単年度の収支を対した現在の会計方式では表示されない内容が盛り込まれています。93億(資産)93億(負債)の半分に近づく借入金に頼り、市民1人あたりに換算すると、資産は158万円、負債は71万円、正味資産は87万円となります。

バランスシート(普通会計) (単位:万円)

借方	平成13年度末	平成14年度末	貸方	平成13年度末	平成14年度末
【資産の部】			【負債の部】		
1.有形固定資産			1.固定負債	25,913,617	24,150,235
(1)総務費	1,399,918	1,754,554	(1)地方債		
(2)民生費	827,240	794,310	(2)債務負担行為		
(3)衛生費	5,019,992	4,794,126	物件の購入等	1,914,305	1,850,048
(4)労働費	32,985	39,236	債務保証又は損失補償	0	0
(5)農林水産費	308	102	債務負担行為	1,914,305	1,850,048
(6)商工費	25,662	25,743	(3)退職給付引当金	2,953,907	2,813,776
(7)土木費	41,113,991	40,549,658	(4)その他		
(8)消防費	493,048	474,051	預り敷金	54,933	55,646
(9)教育費	13,186,049	13,135,678	固定負債合計	30,836,762	28,869,705
(10)その他	777,355	775,517			
有形固定資産合計	62,876,548	62,342,975	2.流動負債		
(うち土地)	(33,265,421)	(33,553,739)	(1)地方債	1,987,886	2,520,995
2.投資等			(2)翌年度繰上充入金	0	0
(1)投資及び出資金	2,024,787	2,083,841	流動負債合計	1,987,886	2,520,995
(2)貸付金	2,223,019	1,970,197			
(3)基金			負債合計	32,824,648	31,390,700
特定目的基金	530,129	470,095			
土地開発基金	1,000,000	1,000,000			
定額運用基金	14,200	14,200			
基金計	1,544,329	1,484,295			
投資等合計	5,792,135	5,538,333	【正味資産の部】		
3.流動資産			1.国庫支出金	15,001,586	14,754,708
(1)現金・預金			2.県支出金	484,910	467,409
財政調整基金	280,638	346,643	3.一般財源等	22,219,583	23,316,539
減価基金	472,678	467,471			
歳計現金	153,315	114,474	正味資産合計	37,706,079	38,538,656
現金・預金計	906,631	928,588			
(2)未収金					
地方税	666,845	701,377			
その他	288,568	418,083			
未収金計	955,413	1,119,460			
流動資産合計	1,862,044	2,048,048			
資産合計	70,530,727	69,929,356	負債・正味資産合計	70,530,727	69,929,356

出納整理期間(翌年度4月～5月)における入金と出金も、年度内に収支したものととして処理している。

図1 平成14年度一般会計決算

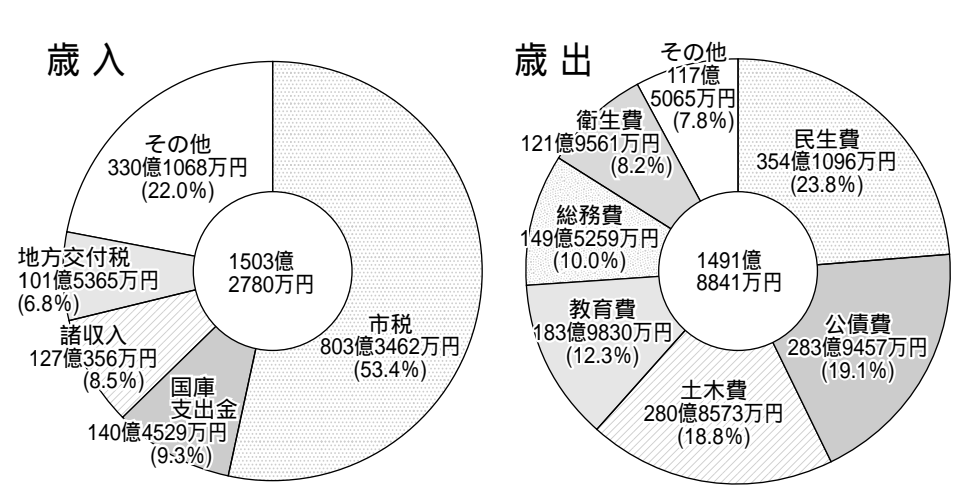


表1 公営企業の業務状況

中央病院	(14年度決算)	(前年度決算)
年間入院患者数	9万300人	9万2829人
1日平均入院患者数	247人	254人
年間外来患者数	22万742人	23万159人
1日平均外来患者数	901人	939人
事業収益	60億9080万円	62億4311万円
事業費用	66億200万円	65億3029万円

水道	(14年度決算)	(前年度決算)
給水戸数	20万1235戸	19万7976戸
給水人口	45万1701人	44万6351人
1日平均配水量	16万884m ³	16万1553m ³
事業収益	107億6317万円	110億2975万円
事業費用	101億8481万円	104億2689万円

工業用水道	(14年度決算)	(前年度決算)
給水事業所数	53所	55所
1日契約水量	3万5892m ³	3万8240m ³
1日平均配水量	1万9021m ³	2万79m ³
事業収益	6億6671万円	5億4926万円
事業費用	5億9285万円	6億1245万円

平成15年度上半期の状況

平成15年9月30日現在における予算額は、一般会計が1597億7310万円、特別会計が1015億8541万円、繰越金が2億5855万円です。当初予算に比べて39億5831万円の増となりますが、この中には前年度からの繰越分35億2222万円が含まれているため、4億3360万円の増を補ったことになりました。

市債・公有財産 一時借入金の状況 平成15年9月30日現在における市債の現在高、公有財産、一時借入金の残額は表3のとおりです。

行政コスト計算書

行政コスト計算書は、資産形成につながる行政サービス(人的サービスや給付サービスなど)を行うために要したコスト(費用)と、その財源である収入の状況を表すものです。コストの範囲は、市民に提供した行政サービスの経費のうち、資産形成につながるものを除いた現金支出0.05億円です。

行政コスト計算書(普通会計)(単位:万円)

区分	平成13年度	平成14年度
行政コスト A	12,250,817	12,192,054
人にかかるコスト	3,812,620	3,613,398
人件費	3,523,690	3,397,642
退職給付引当金繰入等	288,930	215,756
物にかかるコスト	3,420,302	3,441,809
物件費	1,845,226	1,865,506
維持補修費	217,118	213,549
減価償却費	1,357,958	1,362,754
移転支的的なコスト	4,103,833	4,285,350
扶助費	1,678,330	1,852,900
補助費等	580,766	528,279
繰出金	1,512,043	1,581,226
普通建設事業費(補助金等)	332,694	322,942
その他のコスト	914,062	851,497
災害復旧事業費	1,571	1,530
公債費(利子)	866,630	808,655
不納欠損額	45,861	41,312
収入項目 B	13,142,630	12,894,996
使用料・手数料等	1,092,670	1,037,077
国庫支出金	1,759,140	1,808,221
一般財源	10,290,820	10,049,698
正味資産国庫支出金償却額 C	428,984	387,871
期首一般財源等 D	20,898,786	22,219,583
差引一般財源等増減額 E = B + C - A	1,320,797	1,090,813
地方債償還免除による一般財源増額 F		6,143
期末一般財源等 G = E + D + F	22,219,583	23,316,539

表3 市債・公有財産、一時借入金の状況(平成15年9月30日現在)

市債(借金)	金額	公有財産	数量	評価額	一時借入金...52億円
一般会計	2599億6641万円	土地	882万2282m ²	5838億2552万円	
特別会計(下水道事業など)	1126億5021万円	建物	159万9126m ²	2691億7097万円	
合計	3726億1662万円	有価証券など	*****	120億7498万円	
		合計	1042万1408m ²	8650億7147万円	

確定申告書の提出はお早めに 相談会場が便利です

税理士のアドバイスや申告書の受付など

西宮税務署は、平成15年確定申告の相談会場を設けます。近畿税理士会西宮支部の税理士が申告書の作成方法などについてアドバイスします。相談無料。確定申告期間中(2月16日～3月15日)の税務署窓口は大変混雑し、待ち時間が長くなることもあります。できるだけ相談会場を利用し、早めに申告書を提出してください(来場者多数の場合、途中で受付を終了することがあります)。相談会場では申告書の受付も行います。なお、不動産や株式の譲渡、贈与税などについて

相談会場	開設期間	受付時間
西宮商工会館別館(櫛塚町)	2月2日～3月10日	【午前】9時半～11時
アピオホール(阪急逆瀬川駅前)	2月2日～3月9日	【午後】1時～3時半

土・日曜、祝日は休み

市の税務相談 2月12日と3月11日

市は、2月12日と3月11日の午後1時から3時まで、市民相談課(市役所本庁舎1階)で税務相談を行います。税理士、県税事務所職員、市職員が対応します。ただし、確定申告書の作成はしませんので

西宮税務署は、平成15年確定申告の相談・申告書の受付を、2月16日から3月15日までの平日(月曜、金曜)に行います。なお、今年は2月22・29日の日曜日も受け付けます。通常、【問合せ先】西宮税務署(0798・343930)【時間】いずれも午前9時～午後1時、午後1時～5時【問合せ先】西宮税務署(0798・343930)【時間】2月2日～6日の午前10時～午後4時(受付は午後3時半まで)【対象】平成15年中に土地や建物を売却した人など